

令和2年 5月13日

川崎市議会議長 山崎直史様

高津区在住者

新型コロナウイルス禍による自粛要請を端緒とする不況対策として消費税の一時的減税を求める意見書を国に提出することに関する請願

請願の要旨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止に伴う自粛要請によって、困窮する日本国民の生活支援及び経済対策の両面から、一時的に全品目の消費税を0%にすることを要望する意見書を政府に提出して下さるよう、川崎市議会に請願いたします。

請願の理由

この度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界を席卷し、日本経済を、もはやリーマンショックをはるかに超える状況に陥れました。

特に、政府の自粛要請による、中小企業、まちの飲食店などへの影響は計り知れません。大企業は持ちこたえるかもしれませんが、既に中小企業やまちの商店街のお店が倒産、閉店していくのを見聞きしております。

コロナが落ち着いた後、日本経済がV字回復し、活気が戻るには、個性豊かで技術力のある中小企業や個人事業が裾野に広がり、栄えることこそが日本経済の強みだと考えます。

今後、自粛要請が緩和され、中小企業や個人事業を助け、速やかに経済を復活させるために、給付金の次に欠かせないのは消費税減税です。

なぜ消費税なのか。

消費税分を残すため手持ち資金が使えず、決算時に支払えない事業主が続出する税法だからです。

生活支援及び経済対策の両面から、恒久的には難しくとも、一時的な消費税減税を早急に政府に実施していただくことを、一国民として強く希望します。

そのために、是非、川崎市議会から政府に意見書として、「一時的消費税0%減税の要望」を提出していただきたく、同議会にお願いいたします。

市議会こそが市井の民の声であり、政府を動かす力があると信じています。

よろしくお願いたします。

紹介議員

勝 又 光 江
三 宅 隆 介